

主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 64

啓示録において (13)

小羊は光としての神を伴うともし火である

聖書：啓 21:23, 22:5. I ヨハネ 1:5, 7. エペソ 5:8-9

I. キリスト、小羊は新エルサレムのともし火であり、彼の中には光としての神がおられます——啓21:23：

- A. 小羊は内側に光としての神を持っています。なぜなら、小羊はともし火であり、神はともし火の中の光であるからです。勝利を得る贖い主としてのキリストは内側に神を持っています。これは小羊の究極的完成です—— I ヨハネ 1:5, 7。
- B. 神聖な光は贖い主を通して輝き出るので、この光は愛すべきものであり、触れることのできるものとなりました。贖う方である小羊を通して、神の光は享受することのできる輝きとなって、ご自身を分与します——啓 21:23, 22:1-2. 参照、I テモテ 6:16。

II. 光としての神はともし火としての小羊の中におられます——啓21:23. I ヨハネ1:5：

- A. 新エルサレムの都は特別な種類の光を持っています。それは贖う、輝く神です。贖う神は光り輝く神として輝きます——啓 22:1, 5。
- B. 神の照らす栄光はキリストの中の光であり、贖うキリストは光を内容とするともし火です—— 21:23：
 - 1. 神の栄光は都の光であり、内容としての神はキリストによって保持されており、キリストを通して輝き出ます—— 11 節. ヨハネ 1:4-5, 14。
 - 2. キリストにある神は都全体に対する享受としての輝く光です。新エルサレムにおける第一の享受はわたしたちの光としての神です——啓 21:23。
 - 3. 新エルサレムには夜はありません。なぜなら、聖なる都において神ご自身は決して沈むことのない「太陽」であるからです—— 22:5。
 - 4. これは今日、召会生活におけるわたしたちの経験であるかもしれません。わたしたちが主に全存在を開くとき、わたしたちは光の中におり、光はわたしたちの日常生活においてわたしたちによって享受される神ご自身です—— 21:2, 10-11. 22:16 前半. I ヨハネ 1:5, 7. コロサイ 1:12-13。

III. わたしたちは唯一の光としての贖い、輝く神を持っているので、自然の光や人工の光の必要はありません——啓22:5. イザヤ50:10-11：

- A. 新エルサレムの光は唯一で、永遠の、神聖な光です。その中で贖われた選民は聖なる都の内側で生き、活動します——啓 21:23, 25：
 - 1. わたしたちは真の光を持っており、その光はすべての光の源です。すなわち、光はキリストの中で輝く神です。これは新エルサレムの内在的な要素です—— 23 節. 22:5。
 - 2. 新エルサレム全体は至聖所であり、至聖所の中の光は、彼の永遠の栄光における

神ご自身です—— 21:16, 11。

B. 新創造の原則にしたがって、わたしたちクリスチャンは光としての神を内に持って
おり、わたしたちは決して自分自身の光を生み出そうとすべきではありません——
II コリント 5:17. 4:4, 6. イザヤ 50:10-11。

C. キリストのからだの建造のために、わたしたちは神の言葉を通して光としての輝き
贖う神の輝きの下で生きる必要があります——エペソ 4:16. 5:8. 詩 119:130。

IV. 光は支配する力であり、万物が一になり調和するようにします——啓 22:5. エペソ 1:
10:

A. 光は支配する力です。それは照らすものを支配します——啓 22:5:

1. 暗やみがあるところには、大混乱がありますが、光がその支配と統治をもって輝
くとき、秩序があります——創 1:3。

2. 神がおられるところで、光が輝き、光が輝くところに、支配する力があります。

3. わたしたちが新エルサレムの縮図としての召会生活の中で中心としてのキリスト
にある神を持つなら、光を持ちます。そして光が行なう最初の事は、支配し、あ
らゆることを秩序正しくすることです—— 14-18 節. ヨハネ 8:12. エペソ 1:10。

4. わたしたちはキリストの中で光としての神を持つとき、まず秩序を持ち、次に命
を持ちます——II コリント 4:6:

a. 光は輝くとき、また生み出します。命は光から来ます——ヨハネ 1:4-5, 7-13。

b. 神の光がわたしたちの中へと輝くとき、神の命がわたしたちの中へと入って来
ます。光は常に命をわたしたちにもたらしめます—— 8:12. 12:36, 46。

B. 神が命としてわたしたちの中へと入って来るとき、命の光がわたしたちの内側で輝
きます—— 1:4. エペソ 5:8-9:

1. この命は死を飲み尽くし、この光は暗やみを追い払います——ヨハネ 1:4-5. 8:12。

2. わたしたちが命の中におり、光の下にいるなら、混乱から救い出され、秩序、調
和、一の中へともたらされます——エペソ 1:10。

3. わたしたちは命としてのキリストに満ちているとき、光の下におり、光の力によ
って制御されます——啓 22:5。

C. 輝く光としてのキリストにある神は、新エルサレムの支配する中心です—— 1-2 節.
21:23:

1. この光から命のすべての豊富が来ます——ヨハネ 8:12. 10:10 後半. 11:25。

2. 神は光であり、彼から命の水の川が流れ、この生ける水の中で命の木が生長しま
す—— I ヨハネ 1:5. 啓 22:1-2。

D. 神の光があるところに、支配する力と秩序があります。そして支配する力と秩序が
あるところに、生み出す力、命の産出があります。これは新エルサレムの絵です—
—創 1:3-26. 啓 21:10-11, 23. 22:1-2, 5。

V. 神が光であるように、わたしたち、神の子供たちは、光の子供たちです。わたしたち
は光そのものでさえあります。なぜなら、わたしたちは主の中で神と一であるからで
す。ですから、わたしたちは光の子供たちとして歩くべきです——エペソ 5:8-9. ヨ
ハネ 12:36. マタイ 5:14. I ヨハネ 1:5, 7:

A. 神は光であり、わたしたち、神の子供たちは光の子供たちです—— 5 節. エペソ 5:8.

ヨハネ 12:36。

- B. わたしたちは光の子供たちとして、光そのものです。なぜなら、わたしたちは主の中で神と一であるからです——マタイ 5:14。 I ヨハネ 1:5。
- C. わたしたちは光の中にいるとき、善と悪の領域の外にいます——7 節。
- D. わたしたちは光の子供たちとして歩くなら、エペソ第 5 章 9 節に記述されている実を結びます：
 - 1. 光の実は性質において善、手続きにおいて義、表現において真実です。それは、神がわたしたちの日ごとの歩みの実際として表現されるためです。
 - 2. 善、義、真実における光の実は、三一の神と関係があります：
 - a. 善としての父なる神は、光の実の性質です。ですから、9 節の善は父なる神を指しています——マタイ 19:17。
 - b. 義は子なる神を指しています。なぜなら、キリストは来て神の義の手続きにしたがって、神の定められた御旨を完成したからです——ローマ 5:17-18, 21。
 - c. 真実、すなわち光の実の表現は、霊なる神を指しています。なぜなら、彼は実際の霊であるからです——ヨハネ 14:17。 16:13。